

平成16年3月期 第3四半期業績の概況(連結) 平成16年1月30日

上場会社名 日本写真印刷株式会社 (コード番号: 7915 東証・大証第1部)

(URL <http://www.nissha.co.jp>) (TEL: (075)811-8111)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 古川 宏

責任者役職・氏名 取締役管理本部長 高橋 勝

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における：無
認識の方法との相違の有無

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況(平成15年4月1日～平成15年12月31日)

(1) 売上高

	売上高	対前年四半期 増減率
	百万円	%
16年3月期第3四半期	51,174	—
15年3月期第3四半期	—	—
(参考)15年3月期	63,120	

[売上高に関する補足説明]

当第3四半期におけるわが国経済は、輸出や民間設備投資に支えられ緩やかな景気回復に向かっているものの、雇用や所得環境に大きな改善は見られず、デフレ傾向が続くなかイラク情勢に対する不安や円高・ドル安リスクなど、景気の先行き不透明感が払拭できないまま推移しました。

このような経済情勢は当社をとりまく関係業界にも影響を及ぼし、国内需要が低迷するなか価格競争はますます激化し、多品種・小ロット・短納期化の傾向が強まるなど非常に厳しい経営環境となりました。

こうした経営環境下にあつて、当社では顧客のニーズに十分に答えるための体制整備と強化に努め、コストダウンに注力するとともに営業力、技術力を軸に積極的な受注活動を展開しました。その結果、当第3四半期の連結売上高は511億74百万円となりました。

当第3四半期の部門別の概況としましては、印刷・情報事業部門は商業印刷物、書籍・出版印刷物とも前年実績を若干上回りました。一方、産業資材・電子事業部門の産業資材部門は堅調に推移し、電子部門も前年実績を若干上回りました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成16年3月期の業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

(1) 連結業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	67,500	7,200	4,000

(2) 個別業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	67,000	6,000	3,300

[業績予想に関する定性情報等]

業績予想につきましては上記の通りであり、前回公表(平成15年11月7日)と変わりはありません。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成しておりますので、今後の不確定な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上